

じゅんかん ニュース

<第26号>

発行日：平成27年6月17日

発行：市川市清掃部

循環型社会推進課

☎(712) 6317

市川市の資源物とごみの情報ペーパー



ダンボールコンポストって
なんだろう？

竹チップ等を入れた普通のダンボールに生ごみを入れ、分解させるコンポスト容器です。

生ごみを分解させるため、ダンボールの中から生ごみが消えてしまいます。

また分解が進まなくなった竹チップ等は、土に入れて完熟させることで堆肥にすることができます。



用意するものは？

- ダンボール箱
(厚めの箱で大きさはミカン箱程度のもの)
- 底板用のダンボール1枚
- ガムテープ
- バスタオル(タオルケット)
- シャベル(ダンボール内をかき混ぜるため)
- 基材(竹チップ 10リットル程度、
もみ殻くん炭 2リットル程度)

※基材の入手先

- 竹チップは(公財)市川市清掃公社(TEL047-327-8100)で販売しています
- もみ殻くん炭は、園芸店やホームセンター等で販売しています

生ごみ減量のために

ダンボールコンポスト



作り方と使い方は？

を使ってみましょう！



①ダンボール箱に底板用ダンボールを入れて、竹チップともみ殻くん炭を投入する。投入後、ダンボール箱の中心部に水を0.5～1リットル程度入れて、よくかき混ぜる。



②ダンボールコンポストに生ごみを投入する(1日最大500グラム、投入前に生ごみを細かく切ると分解速度が速くなる)。投入したらよくかき混ぜる。



③夏は防虫のため、冬は保温のためダンボールコンポストの上部に、バスタオル(タオルケット)をかける。



④生ごみ投入後1～2週間で温度が40℃以上に上がり、発酵が促進される。

裏面には、注意点などが載っているよ。



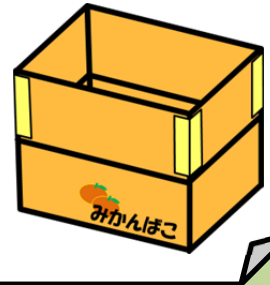
ダンボールコンポストの注意点

- ・生ごみを入れなくても1日1回はかき混ぜてください
- ・ダンボールコンポストは雨に濡れず、日当たりや風通しの良いところ（屋根のあるベランダなど）に置いてください。
- ・米ぬかを入れてよくかき混ぜると温度が上がり、虫が発生しにくくなります。

- ・生ごみを入れ続けることができる期間 → 約2~3ヶ月
- ・生ごみ投入を止めた後は？ → 1ヶ月以上かけて熟成
- ・熟成期間中はどうする？ → 毎日かき混ぜて、適度に水分補給

- ↓
- ・未分解の生ごみがなくなり、アンモニア臭がなくなれば完熟堆肥の完成（完熟堆肥は、3~4倍の土と混ぜてプランターで使うことができます）

●
ダンボール箱の側面をガムテープで補強してください。



ルール③
収集日の
午前8時までには、
決められた
集積所に出す



ルールを守らずに出されたごみ

ルールを守らないごみ出しの対策を
エリアを拡大しながら強化しています。

しっかり守ろう！

ごみ出しルールを

ルール①
正しく分別
(12分別)

ルール②
「燃やすごみ」
「燃やさないごみ」
「プラスチック製容器包装類」
は、指定袋に入れて出す